

アップルキャブのニューノーマルタクシー

2021/9/1

アップルキャブ・南信州広域タクシー(有)は、新型コロナウイルス対策として、低濃度オゾン発生器と空気品質モニター装置、飛沫感染防止シートによる「ニューノーマル(新常态)タクシー」をタクシー全車両に装備いたします。

◇ もともとタクシーが安心できるのはなぜ？

外出したいけれど不特定多数での移動や街の人混みが気になる。こうした不安を抱いた時でも、タクシーなら安心して利用できる大きな理由が2つありました。

1つ目は、自宅から目的の場所までドア to ドアで行けること。大人数を避けられるプライベート空間を保ったまま移動ができるのは、感染症対策として安心感が大きいです。

2つ目は、自動ドア&キャッシュレス決済で接触を少なくできること。タクシーのドアが自動で開くのはおなじみですが、ドアに触れることなく乗り降りができることで、接触が気になる今、気持ちを楽しんでくれます。さらにキャッシュレス決済にすれば接触防止の効果も高くなります。(クレジット・PayPay・楽天ペイ)

◇ 「ニューノーマルタクシー」の「もっと安心に」を叶えた3つのポイント

常に「すべての人が安心して乗れること」を追求しているタクシー。さらに2021年、「もっと安心に」を叶えるために3つの新しい機能を追加、パワーアップしました。その名は、「ニューノーマルタクシー」。アップルキャブではいち早く取り入れています。ではどんなふう変わったのでしょうか。具体的に紹介いたします。



「低濃度オゾン発生器 CAX-DS01」

「空気品質モニターDM306」

1. 車内の細かいウイルスも瞬時にカットする「低濃度オゾン発生器」

乗り物を利用する時、空気が汚れていないか気になりますか？換気をはじめ空気を浄化することは、ウイルス対策としてもとても大切になります。

タクシーではこれまでもエアコンの機能を使えば空気が1~2分で入れ替わっていたほか、窓を5cmほど開けるなど換気を徹底していました。一方、「ニューノーマルタクシー」は空気の浄化面がパワーアップし、窓を開ける必要がなくなりました。ダッシュボードの上に載せるオゾン発生器はJVCケンウッド製の「CAX-DS01」が、強力な酸化力で車内空間を除菌・消臭します。

2. 車内の空気が「見える」「空気品質モニター」

「空気品質モニター」は、車内の空気の状態をチェックできる機能。センサーを使って空気の清浄状況をモニタリングし、その結果をモニターに表示することで車内の空気を「見える化」しています。たとえば「空気品質モニター」で空気がどのくらい洗浄されたかを自分の目で確かめることができるので、安心感も高まります。

3. 乗務員とのやりとりも安心な「飛沫感染防止シート」

新型コロナウイルス感染症の拡大防止として、アップルキャブでも透明なビニール製の飛沫感染防止シートを設置するなど、安心できる空間づくりを進めてきました。

◇ 低濃度オゾン発生器「CAX-DS01」について

「CAX-DS01」は、多重リング式を採用したコロナ放電により、低濃度オゾンとイオンを効果的に生成・放出※1することで、ウイルスやニオイの抑制※2が可能な低濃度オゾン発生器です。車載向けとして車のダッシュボードに置くことができるコンパクト設計を実現するとともに、シガーソケットに対応し、駐車中の太陽光駆動が可能なソーラーパネルも搭載しています。また、フィルターの交換が不要で、手入れが簡単のため、長時間走行するタクシーに適した除菌消臭装置として、多くのタクシー事業者に導入されています。

※1：本機は日本産業衛生学会が定める作業環境許容濃度で使用できる低濃度オゾン発生器です。

※2：試験結果に基づく効果であり、実使用空間での実証結果ではありません。

— アップルキャブはいち早く始めた「ニューノーマルタクシー」で快適な移動空間を提供します —